

平成23年度牛久市の 家庭系ごみ排出量の現状

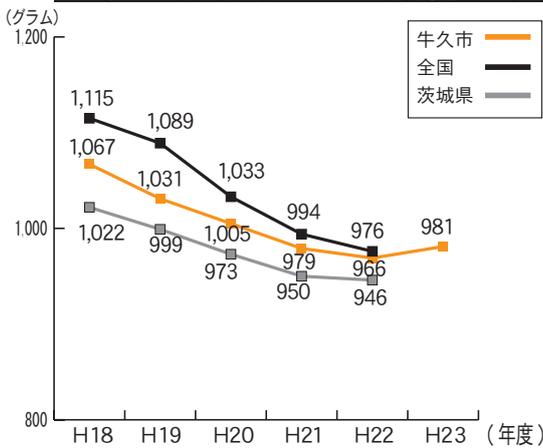
ごみ排出量が増加

牛久市のごみ総排出量は、平成18年度の3万トンをピークに減少してきましたが、昨年3月に発生した東日本大震災の影響により増加に転じています。平成23年度の家庭や事業所が排出した**ごみ総排出量は2万9280トン**で、前年度より727トン(2.5%)も増加しています。(図1)

市のごみ排出割合は、家庭ごみ



図2. 1人1日当たりのごみ排出量の推移



80%、事業ごみ20%という構成になつていて、平成23年度の増加量727トンのうち、家庭ごみが約84%(609トン)を占めています。これらのごみが増加した要因は、東日本大震災による被災ごみの発生、人口増加(年間878人)が主要因と考えられています。

市民1人1日当たり排出量が増加

ごみ排出量を比較する指標に1人

1日当たりの排出量があります。平成23年度の**市民1人1日当たりの排出量は981グラム**、前年度より15グラム増加していることが分かりました。市の排出状況(平成22年度実績で966グラム)と全国・茨城県平均を比較すると、全国平均976グラムは下回っていますが、茨城県平均946グラムを20グラム上回り、県内では排出量の多い自治体となっています。(図2)

市民一人一人が日常生活の中で、ちよつとした工夫をすることでごみの削減は可能です。ごみの削減、分別の意識を持ち、より一層のごみ減量化にご協力をお願いします。

家庭系ごみの内訳は?

ごみ総排出量のうち、約80%が家庭から排出されるごみや資源物です。平成23年度の家庭系ごみ排出量は2万3522トン、前年度比609トンの増加となりました(表1)。特に家庭ごみの70%以上を占める燃えるごみは増加が著しく、596トン増加し1万7268トンが排出されました。月別排出によれば、震災後の5月に災害ごみが、9月には草木類が多く排出されたため、増加したものと考えられ

表1. 家庭系ごみの排出量の内訳 (単位:トン)

年度	H22年度	H23年度	比較
燃えるごみ	16,672	17,268	596
燃えないごみ	1,073	1,077	4
粗大ごみ	557	638	81
小計	18,302	18,983	681
家庭資源物	4,532	4,477	-55
災害ごみ	79	62	-17
合計	22,913	23,522	609

資源物回収に

参加しませんか?

ごみの減量化および資源化を推進するため、行政区や子供会、シニアクラブなど、団体での参加者を募集しています。参加団体の活動を支援する補助金交付制度がありますのでご利用ください。また、生ごみ処理容器購入に対して補助金を交付しています。詳しくは、廃棄物対策課までお問い合わせください。

